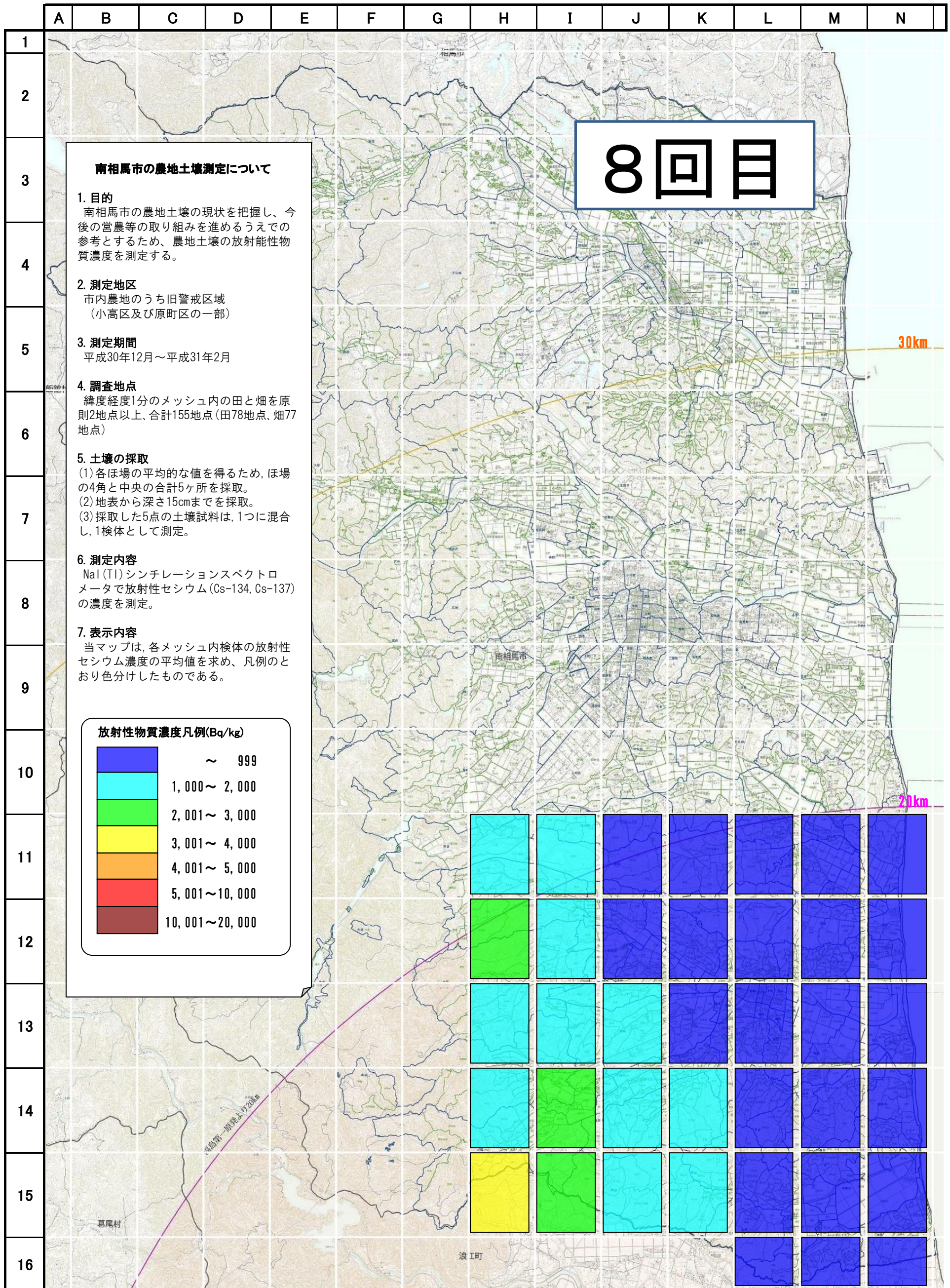


南相馬市内(旧警戒区域)農地土壌放射性物質濃度測定マップ (平成30年12月～平成31年2月)



南相馬市の農地土壌測定について

- 1. 目的**
南相馬市の農地土壌の現状を把握し、今後の営農等の取り組みを進めるうえでの参考とするため、農地土壌の放射性物質濃度を測定する。
- 2. 測定地区**
市内農地のうち旧警戒区域(小高区及び原町区の一部)
- 3. 測定期間**
平成30年12月～平成31年2月
- 4. 調査地点**
緯度経度1分のメッシュ内の田と畑を原則2地点以上、合計155地点(田78地点、畑77地点)
- 5. 土壌の採取**
(1)各ほ場の平均的な値を得るため、ほ場の4角と中央の合計5ヶ所を採取。
(2)地表から深さ15cmまでを採取。
(3)採取した5点の土壌試料は、1つに混合し、1検体として測定。
- 6. 測定内容**
NaI(Tl)シンチレーションスペクトロメータで放射性セシウム(Cs-134, Cs-137)の濃度を測定。
- 7. 表示内容**
当マップは、各メッシュ内検体の放射性セシウム濃度の平均値を求め、凡例のとおり色分けしたものである。

放射性物質濃度凡例(Bq/kg)

Blue	～ 999
Cyan	1,000～ 2,000
Green	2,001～ 3,000
Yellow	3,001～ 4,000
Orange	4,001～ 5,000
Red	5,001～ 10,000
Brown	10,001～ 20,000

この測定マップを作成するにあたり、福島県土地改良事業団体連合会にご協力いただきました。